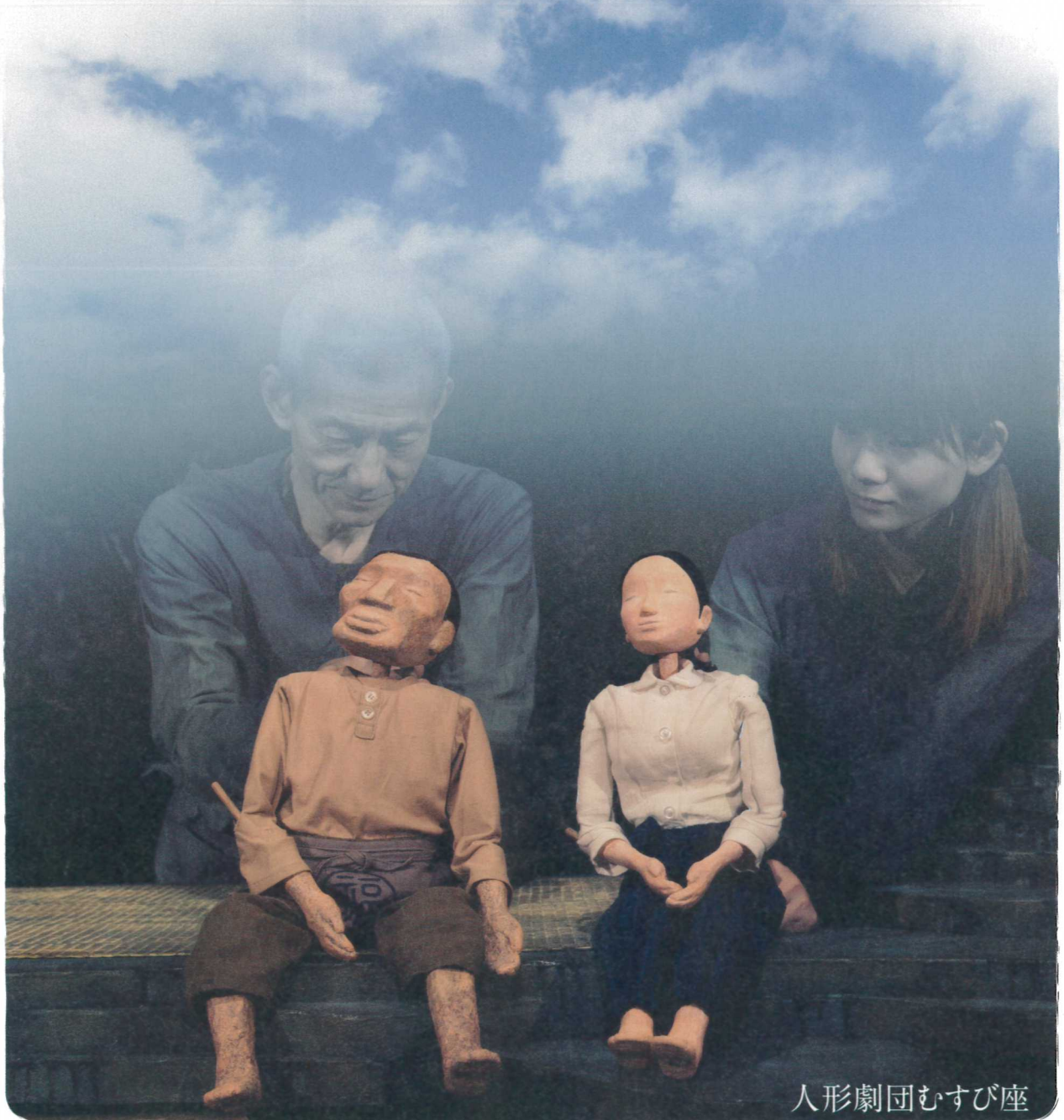


父と暮せば

作=井上ひさし 演出=木村 繁
(新潮社刊)



第191回 会津子ども劇場 高学年例会 (小学3年生以上対象)
公益財団法人会津若松文化振興財団共同事業

とき：2016年7月13日(水) 18:30～

場所：文化センター 託児あり：一人200円 3日前にまでに申込み必要

一般チケット代 一人2,000円

お問い合わせ先：会津子ども劇場 0242-27-0588 後援：会津若松市教育委員会

父と暮せば

作 = 井上ひさし (新潮社刊)

1948年夏、広島。

3年前の原爆により目の前で父を亡くした美津江は、

幸せになることを自分に禁じて生きていた。

そんな彼女の前に、父が現れ…

そして美津江は知るのであった。

あの日、瓦礫の下から「逃げろ!」と怒鳴った父の想いを。

自分の分まで生きて、ピカのことを後世に伝えて欲しいという父の切なる願いを。

変わらないと信じていた日常が突然消え去った時、人はどう生きていくのか。

人形劇ならではの斬新な手法で、井上ひさしの名作戯曲をお届けします。



…その結果、井上が描いたテーマが確かに伝わった。それは、「生き残ることが不自然」な中で生き残り、幸せになってはいけないと思ひ込む広島での生存者たちへの、死者からのメッセージだ。死者の分まで幸せに生きよ。そして、あの過酷な体験をしっかり後世に伝えよ、と。(2015年9月5日中日新聞夕刊)

安住恭子(演劇評論家)

…舞台上の4人は人形とともに緊張と弛緩の劇的な旅を疾走する。(中略)これは人形と人形遣い、俳優が演劇的な磁力で渾然一体となる絶妙な瞬間瞬間の創造的な試みであり、結果は感動の美学だった。…

(「演劇評論」2014年秋号)

ホ・スンジャ

(韓国/演劇評論家、ソウル芸術大学教授)

スタッフ 企画：浦野一昭
演出：木村 繁
美術：宮武史郎
音響：加藤久直
照明：林 達美
衣裳：福永朝子
宣伝美術：杉江智子(デザインキッズ)
写真：清水ジロー(写真映像工房サラ)
制作：吉田明子

賛助会員募集中!

会津子ども劇場は、すべての子どもが豊かに育つ

環境づくりを目指し活動しています。

芸術文化体験・子どもの体験・子育て支援事業

世代間交流・子どもの居場所・ママパパのしゃべり場

ただ今、会津子ども劇場の活動を応援して下さる方を募集中です!

個人支援会員：2,000円 (一口/年会費)

法人支援会員：5,000円 (一口/年会費)

※ 詳しくは、会津子ども劇場事務局
(0242-27-0588) まで
不在の場合は、お名前と電話番号を
お願いします。
こちらからご連絡いたします。

【郵便払込】

口座番号：02250-7-121023

加入者名：会津子ども劇場

通信欄：賛助会員〇口

御依頼人：おところ・おなまえ

※6月1日より開設になります。